

第13回登別市総合計画第3期基本計画市民検討委員会産業躍動部会
議事録（概要）

（敬称略）

- ◆開催日時：平成27年8月12日（水）18：40～19：10
- ◆開催場所：登別市役所2階 第1委員会室
- ◆出席者：部会長 高橋 弘康
部会員 安達 陽子
近井 一夫
川田 弘教
志水 孝暢（市庁内検討委員会部会長）
【観光経済部次長】
奥田 修弘（市庁内検討委員会部会員）
【観光経済部商工労政グループ主査】
- ◆欠席者：副部会長 小川 賢
部会員 木村 義恭
白田 明義
- ◆事務局： 沼田 久人【総務部企画調整グループ総括主幹】
山本 直人【総務部企画調整グループ主査】
会田 真悟【総務部企画調整グループ担当員】
梅田 秀人【市民生活部市民協働グループ総括主幹】
- ◆議題：総合計画第3期基本計画体系図及び提言書案について

《部会長》

本日は、総合計画第3期基本計画体系図と提言書案を議題として進めますのでよろしくをお願いします。まず、事務局より説明をお願いします。

《事務局》

提言書のほうにいくまえに、先に地方創生についてご報告したいと思います。たくさんの方からご意見をいただいて、最終的に約200事業が集まりました。その中から、今年度下半期で終わられる事業で、来年度以降も継続する場合に補助金がなくても登別市の体力で続けられる事業を条件に選定しました。

商店街の活性化に向けた空き店舗活用への補助金がひとつです。

また、認知症の方が徘徊したときのために「見守りネットワーク」というシステムがありますが、そのほかに、徘徊する方にGPSを付けて発見できるようにするという事業も実施したいと思っています。

それと、介護サービスの関係ですが、介護の現場は慢性的に人手不足になっています。移住も含めて介護サービスに従事している方に募集をかけ、育成する事業もやってみたいと思っています。

また、前の事業でブックスタートを始めましたが、別の路線で、3歳児を対象として、図鑑などを渡して学ぶ意欲を向上させるような事業「ライブラリースタート事業」を始めます。

今あげたような事業を新規で組んでいく予定で、これらを行うために国から1千万の交付金を受けたいと考えています。平成27年度に行う事業については、9月の議会で補正予算を組んでいくことになります。

平成28年度に国が行う新型交付金について報道機関に情報が流れるようになってきました。情報によると、来年度の交付金は先駆性のある事業について半額までしか出さないというものですので、これからの事業も単費でできるものをやりたいと思っています。

また、市議会に特別委員会が設置されました。これは、第3期基本計画と地方創生が連動しているかどうか調査するものです。先日皆さんにお配りした地方創生の策定方針について、先般、特別委員会に説明したところです。今後も説明を行う中で、皆さんにも特別委員会にご参加いただいて意見をいただくこともあるかもしれませんので、そのときはご協力をお願いします。

さて、提言書についてですが、先日、部会長・副部会長会議を開催し、提言書（案）を配布させていただきました。そして、1ページ目から始まる「基本計画策定に向けた私たちの想いと願い」は全部会共通ですので全部会に見てほしいこと、その後の各部会の提言内容については基本的に他の部会の箇所には口を出さないということをお願いしました。

また、市長への提言書の渡し方については、委員長・副委員長・部会長は全員そろっていただき、副部会長も可能な方は極力出ていただいて、提言書を渡すことになりました。提言書の中味を確認していただき、全部会で内容を了承いただければ、日にちを決めて市長に渡すということになります。

中身についてですが、現時点で他の4つの部会が終わっていて、「基本計画策定に向けた私たちの想いと願い」については修正がありませんでしたが、皆さんで修正したほうがいいと思った箇所はありましたか。

《部会員》

これでいいと思います。

《事務局》

反対意見がないようですので、このままにさせていただきます。

それでは10ページ以降の産業躍動部会の内容に進みますが、その前に、部

会長・副部会長会議においてご指摘があったところがございまして、12ページの「稲作や畑作には向かない登別市の自然特性に配慮し、これまで通り、畜産を中心としたとした取組を進めていくことが現実的」というくだりについて、稲作や畑作には向かないという言い方はどうなのか、という意見がありました。産業躍動部会では、登別市は元々向いていないという論点で議論してきたのでそのような記載をしましたが、どうでしょうか。

《部会員》

正直に書いていいと思います。アスパラ栽培などが取り組まれています、畑作ではありません。畑作とは基本的に露地栽培のことであり、登別では難しい。昔に比べて気象条件は改善してきているのかもしれませんが、日照時間などの関係か、登別市では実が固くなってしまう傾向があります。

《事務局》

今おっしゃっていただいたように、「稲作や畑作を行うには難しい」といった表現を使うのもありかと思います。「向かない」では可能性がゼロという印象があります。

《市庁内部会部会長》

現在、新規で畑作や稲作をしたいという方がいる事実もあるので、「向かない」よりは「難しい」という表現のほうが適しているかもしれません。過去には稲作や畑作には向かないので畜産に特化した経緯はありますが、気象条件も変わってきていますし、農業として成り立つ可能性がないわけではありません。

《部会員》

稲作も昔は米を作っていましたし、可能性がないわけではないのは間違いありませんね。「難しい」でいいのではないのでしょうか。

《事務局》

では、この部分は「難しい」といった表現に変えさせていただきます。そのほか、何かありますか。今までの議論を網羅した形で作成したつもりではありますが。

《部会長》

内容は全体的にいいと思います。10ページの冒頭の箇所、句読点が抜けているなど一部誤入力と思われるところがありますので、これだけは直してもらえればと思います。

《部会員》

そのほかは、いいと思います。

《事務局》

では、先ほどの「難しい」という表現や誤入力の部分を修正して、最終的な成案にさせていただきたいと思います。

明日8月13日に行う「まちづくり部会」が最終で、提言書を渡す日付は8月の最終週になるかと考えています。決まりましたら皆さんにご連絡し、部長・副部長、委員長・副委員長にお集まりいただいて提言書を市長にお渡しいただこうと思います。提言書の成案には、皆さんのお名前や部会を行った回数なども記入します。提言書が整った段階で、郵送で皆さんのお手元に送ろうと思いますので、目を通していただければと思います。

なお、提言書を渡すときには、体系図をつけて出してもらいますが、体系図については何かご意見はありますか。

《部会員》

いいと思います。

《事務局》

庁内部会でも同じ体系図を見ているので、全部会からご了承がもらえれば、市民部会と庁内部会でこの体系図で最終的に合意したということになります。

今後については、皆さんに提言書を渡していただいて、市で基本計画の本文を作成していくこととなります。9月25日ぐらいからパブリックコメントを1カ月間実施し、12月議会で市議会に提案する予定です。基本計画案ができた後、パブリックコメントと同時進行になるかもしれませんが、再度皆さんにお集まりいただいて、基本計画案に対する最終的な意見をお伺いしたいと考えています。

《部会長》

その他、全体を通して何か意見はありませんか。無いようですので、これで終わります。